

日々前進

SEND to 2050 PROJECT 実践報告会終了！

下村文部科学大臣から、実践優秀賞を手渡されました！



文部科学大臣から直接、表彰状をいただきました。



下村博文（しもむらはくぶん）大臣との記念写真

先週の23日に、文部科学省で全国生徒会サミットの実践報告会が行われました。吾妻中学校生徒会は、16団体の中から代表5校に選ばれ、「実践優秀校」として表彰されました。吾妻中生も取り上げられたドキュメンタリー映画の上映や、スペシャルサポーターのAIさんの激励もあり、普段では味わえない貴重な体験をすることができました。

AIさんは、中学生が一生懸命に地域のために活動する姿に感動し、「中学生の声を直接聞きたい。」と来週8日に福島に来ることが決まりました。吾妻中からも生徒会役員らが参加することになっています。（裏面に感想を載せました。）



スペシャルサポーターのAIさんも駆けつけて激励してくれました！

～ 来週の予定 ～

月日(曜)	1	2	3	4	5	6	行事など
2/4(月)	□美	理科	数学	英語	/	/	学年末テスト①
5(火)	社会	音保	国語	技家	火5	火6	学年末テスト②
6(水)	水1	水2	水3	水4	総合	総合	新入生保護者説明会
7(木)	木1	木2	木3	木4	参観	/	授業参観, PTA学年懇談会
8(金)	金1	金2	金3	金4	金5	/	全校集会, AIサミット2013
再来週の予定	11日 建国記念の日			15日 執行委員会(1, 2年生部活動なし)			

『全国生徒会サミット実践報告会』に参加して ～ 於：文部科学省 ～

3年2組 亀岡ひかる

1月23日に、東京の文部科学省で開かれた生徒会サミット実践報告会では、それぞれの中学校が実践した「地域に貢献できる活動」をたくさん知りました。そのどれもが、誰かの笑顔を生むような、心が込められた活動でした。今回知った中学校の活動の中で、特に印象強かったものが4つあります。1つ目は、仮設住宅の1軒1軒を回って、ドアをきれいに拭いていくボランティアです。2つ目は、大地震を想定した体育館での避難シミュレーションです。実際に、このシミュレーションの数日後に地震が起こり、体育館が避難所になった際に、生徒が冷静に対応できたそうです。すごいですよね。3つ目は、老人ホームの訪問です。お年寄りの方と笑顔で過ごす中学生の嬉しそうな姿が、とても心に残りました。4つ目は、生徒がデザインしたTシャツを販売し、義援金として復興に役立てようという活動です。その中学校の生徒会は、大企業のユニクロに協力をお願いしているところでした。私はそれを初めて聞いたとき、その大胆さに驚きました。そして、そしてとてもわくわくしました。

たくさんの実践報告を聞いて、改めて思ったことがありました。やろうと思って、それに協力してくれる仲間がいて、少しずつでも行動に移す。そうすれば、「私達には何だってできるのではないか」ということです。具体的にイメージしたことは必ず実現できると聞いたことがあります。その通りだと思います。現在、吾妻中学校では、地域の方々を笑顔にするような活動ができていません。それは、この先の方向性が定まらず、具体的な活動のアイデアが浮かばないからではないでしょうか。今回知った様々な中学校の実践は、これからの吾妻中学校の活動にとって素晴らしい道しるべになると思います。現生徒会役員には、高い志をもち、仲間と協力して行動していくことを忘れずに、さらに充実した生徒会活動をしてほしいです。3学年の私達は、卒業まであと少しとなりました。これからは、後輩の活動を後押しできるように、地域の方へのあいさつなどを意識して、しっかりと行っていきます。そして、できるだけたくさんの人を笑顔にしたいです。

3年3組 後藤陽菜乃

私は、当日の朝に体調が悪くなってしまったので、想像していた「生徒会サミット実践報告会」にはなりません。いさぎよく休んでいけばいいのに、どうしても文科省でみんなと発表したかったので、迷惑を掛けながら参加しました。私は体調不良で参加して感じたことがたくさんありました。それは「人の優しさ」です。仲間や先生はもちろんのこと、事務局の方々や文科省の方々にも助けていただきました。本当に親身になって私のことを考えてくださっているのが伝わってきて、私はどうしていいのかわかりませんでした。発表したくても、なかなか身体が言うことを聞いてくれず、もどかしさでいっぱいでした。2時間休んだあとに、熱が上がったことを知ったときは、本当に「もう無理」と思いました。「どうして言うことを聞いてくれないの！」「少しだけでいいからちょっとは元気になってよ！」というイライラだけでした。

しかし、私の熱い思いが届いたのか、しばらくして熱が下がりにインフルエンザではないと分かりました。「発表できる」と言われたときは、本当に本当に言葉では表せないぐらいとても嬉しかったです。その日初めて「来て良かった」と思えました。たくさんの人に迷惑と心配をかけてしまいました。でも、たくさん温かさにふれることができました。改めて、人は一人では生きていけないし、周りにいる人にいつも感謝の気持ちをおぼわれないことが大切だと感じました。たくさん迷惑をかけてしまったので、どういう形になるかわかりませんが、必ずこの恩は返すつもりです。

私にとって、一生忘れられない1日になりました。

2年2組 宍戸 恭夏

私は1月23日に文部科学省に行って、「生徒会サミット実践報告会」に参加しました。そこでは、仲間との再会や新しい出会いがありました。今回、全国各地から集まった16校の実践報告はとても奥が深いものでした。どの中学生も震災から逃げずに立ち向かっていること、中学生にしかできないことをしようとする志、日本を笑顔で包みたい思いでいることなど、全国の中学生が同じ思いをもって活動していることを知りました。

来年度のサミットも、今年度のようなアクションを起こせると私は思います。しかし、それは簡単なことではありません。だからこそ皆が力を合わせて皆が立ち上がることが必要だと思います。今の私にできること、それは吾妻中生に「自分たちで未来を創ることができる」このことを伝えることです。そして2013年の全国生徒会サミットを通して、吾妻中生が、地域の人が、そしてアジアの人が一つになることができると、私は信じています。

「AIサミット2013 in 福島」開催決定！！

とき：2月8日(金) 12:30~17:00

ところ：A・O・Z(アオウゼ)

参加者：生徒会サミット参加者および現生徒会役員

「AIサミット2013」で検索し、
特設HPもぜひご覧下さい！